



196号

3月12日(金曜日)

発行所 五島高校  
発行責任 五島高校新聞部  
編集 森 中島

# 選択肢を広げるために 五島市合同企業説明会

令和三年一月十三日(水)・十四日(木)。五島市中央公園市民体育館では五島高校一・二年生を対象に、五島市の企業説明会が行われる予定だった。しかし今年度は新型コロナウイルスの影響で止む無く中止となった。

今回の説明会に参加することは、どのようにならぬか働いているのかを知る良い機会になっていたろう。

人材・人材育成方針、企業理念・会社PRが記載されており、ページに一つの会社の魅力がぎゅっと詰まったものになっている。

今回説明会に参加するはずだった企業は、二十三に及ぶ。業種はソフトウェア業から水産食品製造業まで幅広い。私たちの将来に向けて、五島という小さな島の中

今回の説明会に参加することができなかったが、代わりに一・二年生には資料が配布された。参加事業所一覧、会場配置図と続き、各事業所の説明が載せられている。

企業説明会を受けられなかったのは大変残念なことだが、配られた資料を熟読し、少しでも、自分達の選択に役立てなければならな

## 百二十年の歴史 支えてくれる人

### 購買部 播磨カヨ子さん

百二十年を迎えた五島高校。こうして長い間五島高校の伝統が受け継がれてきたのは、過去の五島高校の生徒たちや先生方のおかげに他ならない。二〇二〇年十月、五島高校百二十年記念式典が行われた。本来よりもぐっと人数を抑えての開催だったが、盛大に祝われた。特別功労者として表彰された播磨カヨ子さんには、生徒の多くがお昼

時にお世話になってる。播磨さんは今から約五十年以上前から購買部で働いてくださっているそうだ。元々教員だったが、子育てが忙しく、購買部で働くことになった。昔と今の違いを訊ねてみたところ、驚くことが分かった。現在は一日に販売するパンは箱一つだが、以前は箱五つ分にもなっていたそうだ。特に体育祭などでは多くの学

生が購買部を訪れ、一日の売り上げは約三万円にもなったらしい。また忙しいお昼時には学生バイトを雇っていたことなど、昔を思い出して語ってくれた。今回播磨さんに会いに行った時、生徒一人一人に丁寧に接している播磨さんの姿があった。授業で疲れた生徒を労う彼女に、陰ながら助けてもらっているの



播磨さん(左)と五島高校生(右)



いだらう。

だと思った。これからも私たちと一緒に、五島高校を守って欲しいと切に思う。

事業所名	業種
1 株式会社今村組	一般土木建築工事業
2 社会福祉法人なごみ会	老人福祉・介護事業
3 海興水産 株式会社	海面漁業
4 社会福祉法人聖マリア会	老人福祉・介護事業
5 こばた電設株式会社	電気工事業
6 株式会社 アライ	電気工事業
7 社会福祉法人さゆり会	社会保険・社会福祉・介護事業
8 株式会社コーポレーション	警備業
9 株式会社JAごとう食肉センター	畜業
10 五島トーヨー株式会社	家具・健具・畳小売業
11 中本製麺福江工場	食料品製造業
12 エコ・スマイル株式会社	機械器具小売業
13 株式会社浜口水産	水産食料品製造業
14 株式会社シーエス・プレナー	サービス業
15 日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社	ソフトウェア業
16 株式会社ディーソールHPI	ソフトウェア業
17 五島漁業協同組合	農林水産業協同組合
18 五島自動車株式会社	一般乗合旅客自動車運送業
19 株式会社イー・ライフ・サービス ケアハウス イータウン事業	老人福祉・介護事業
20 ごと 株式会社	食料品製造業
21 社会福祉法人五島市社会福祉協議会	老人福祉・介護事業
22 鮭割亭ひなかの	すし店
23 株式会社末留葬儀社	冠婚葬祭業

## マラソン大会実施されず

毎年冬の恒例行事として行われるマラソン大会。今年も例年通り、一月二十八日(木)に行われる予定だったため、体育の授業では半そで半ズボン姿の生徒たちが寒いなか練習を重ねていた。しかし、開始直前や走っている最中にマスクを外した状態で密になり、コロナウイルスに感染する恐れがあるということで中止となった。そこで代替案としてタイムトライアルを実施することに。また毎年走りきったあとの豚汁を楽しむにしていた生徒も多いと思うが、この炊き出しも中止となった。疲労と空腹に襲われた体を満たしてくれた豚汁を今年は味わうことができないことに悲しい気持ちになった。

### 健康を守る

二年生にとっては最後となるはずだったマラソン大会。高校を卒業してしまえば多くの人がとって定期的に運動する機会を得ることが難しくなるだろう。だが運動をしなれば、生活習慣病、肥満、糖尿病、心筋梗塞、肝梗塞に陥る可能性がある。保健康室の櫻井先生が教えてくださった。激しい運動をする必要は無く、少しでも良いから体を動かすだけでも、病気にかけにくい体を作ることができるそうだ。



## 昨年の優勝者の声

昨年のマラソン大会で優勝した二年四組の関田結衣さんに中止について訊ねてみた。関田さんは「残念だけど、この状況だから仕方ないと思う」と述べた。また、タイムトライアルに変更になったことについて